

ドラマ・ ウィズ・ ミュージック

～井上ひさしの音楽世界 井上ひさし資料特集展 vol.6

2016 12/3 土～
2017 4/9 日

仙台文学館
企画展示室

休館日

月曜日(休日の場合は開館)、
第4木曜日(12月除く)、
12月28日～1月4日、
1月10日、3月21日

開館時間

午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

観覧料

一般 570円
高校生 230円
小・中学生 110円
※30名以上の団体の場合、割引

主催：仙台文学館

協力：井上事務所 こまつ座 遅筆堂文庫



(公財)仙台市市民文化事業団

仙台文学館

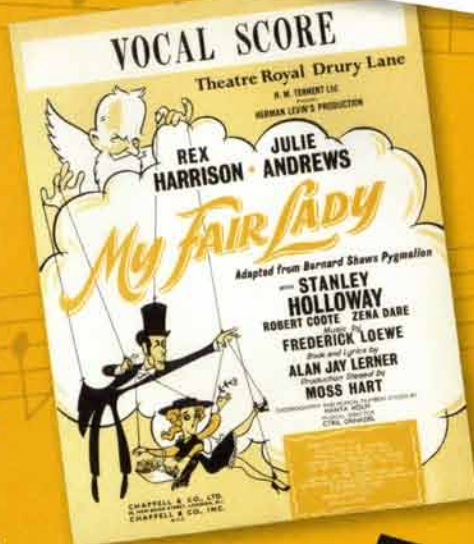
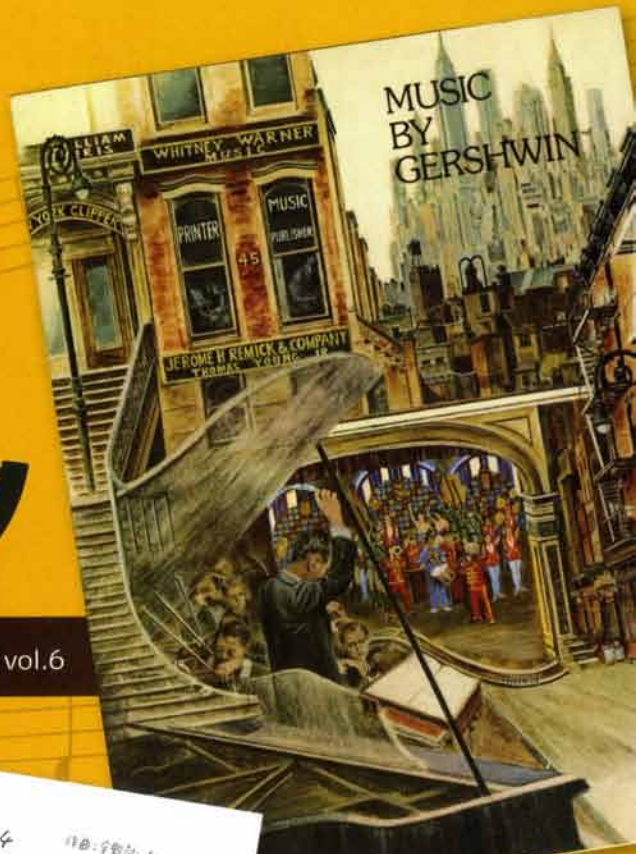
〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1

Tel.022-271-3020 Fax.022-271-3044

使用写真)撮影：佐々木隆二

掲載資料)“MUSIC BY GERSHWIN”、“MY FAIR LADY”(朝人蔵)

劇中歌「天子さまのマーチ」・「みんな人間」楽譜(仙台文学館蔵)





シンフォニー楽譜出版社編集部編
『傑作流行名曲集』(個人蔵)



宮田東峰編
『ハーモニカ流行歌曲集 第六編』(個人蔵)



井上ひさし愛用のハーモニカ(個人蔵)



チャイコフスキー作曲「Why?」楽譜(仙台文学館蔵)



『ロマンス』劇中歌「なぜか」創作メモ(仙台文学館蔵)

放送作家としてラジオやテレビ番組を手がけていた頃から、井上ひさしは唄や音楽を作品にふんだんに取り入れていました。山元護久と共作したNHK放送の人形劇「ひょっこりひょうたん島」では、作曲家・宇野誠一郎の音楽との絶妙な掛け合いが、全国の子どもたちを楽しませました。また、「ムーミン」や「ひみつのアッコちゃん」といったアニメーション主題歌の作詞も手がけています。そして、劇作家としてのデビュー作と言われる『日本人のへそ』は、ミュージカル仕立ての趣向が凝らされた作品となっています。

劇作家として活躍するようになってからの井上は、宇野誠一郎とコンビを組み、台詞と唄が、言葉と音楽が、一つに溶け合って形作られる演劇を作り続けます。しかしそこには、ブロードウェイ・ミュージカルに憧れながらも、日本ではブ

ロードウェイのような作品を作ることはできないという現実との葛藤がありました。その葛藤の中から、井上はやがて、「ドラマ・ウィズ・ミュージック」と呼ぶようになる独自のスタイルを見つけていくことになります。

本展では、井上ひさしの生涯を「音楽」の視点から辿り、幼少時代の音楽体験から自身の音楽劇のスタイルを作りあげていくまでの過程に焦点を当てます。そのなかで、戦前の流行歌を劇中歌として全面的に使用した、『きらめく星座』『花よりタンゴ』といった中期作品の創作資料や、既存の楽曲に新たな詞をつけて劇中歌を作るという手法で書かれた、『夢の裂け目』『太鼓たたいて笛ふいて』『ロマンス』といった後期作品の楽譜資料、さらに音楽に関するエッセイや参考にしてきた書籍資料などを紹介します。

俳優が歌う
これが大切です。
(対談「こまつ座25周年」(「悲劇喜劇」2009.12月号))

展示関連イベント

トークイベント

「思い出を語る 井上ひさしと宇野誠一郎」

井上芝居の音楽を数多く手がけた作曲家・宇野誠一郎と学生時代から交友があり、「ひょっこりひょうたん島」をはじめ、数多くの井上作品で劇中歌の歌唱を指導した宮本貞子氏を迎え、当時の思い出や稽古でのエピソードと共に、井上芝居における劇中歌の魅力についてお話しいたします。

出演：宮本貞子(声楽家)
聞き手：山口宏子(朝日新聞記者)
日時：3月5日(日) 13:30~15:00
会場：仙台文学館講習室
定員：100名(先着)
※企画展観覧券の半券をご提示下さい。

展示室ミニコンサート

「井上ひさしが愛した音楽たち」

井上ひさしが幼少より親しんだ音楽、劇中で使用した音楽、そして最も好んだクラフト・ヴァイルやガーシュインの楽曲をピアノ演奏と歌でお楽しみいただきます。

出演：榊原光裕(音楽家・ピアニスト)
萩原里香(歌手)
日時：2月12日(日)、2月26日(日)
いずれも13:30~14:40
会場：仙台文学館企画展示室
定員：40名(先着)
※入場には企画展観覧券が必要です

ミニ合唱コンサート

「井上ひさしが作詞した音楽たち」

指揮者・伴奏者・ピアニストとして活動され、仙台第一高等学校時代から井上ひさしの友人でもあった大泉勉氏をお迎えし、井上が作詞した校歌などの楽曲を合唱でお楽しみいただきます。また曲間には、井上との思い出についてお話しいたします。

指揮：大泉勉(宮城教育大学名誉教授)
合唱：いずみオッチェンコール
日時：3月19日(日) 13:30~14:30
会場：仙台文学館1階エントランスホール
定員：50名(先着)
※入場は無料です

申込方法 | 電話・FAXのいずれかで仙台文学館へ(FAXの場合は、イベント名・日時・名前・電話番号を明記してください)。定員になり次第受付終了します。

読書会

「井上ひさし作品について語ろう!」

事前に指定のテキストを読んで、それぞれの感想や疑問、意見を自由に述べ合う読書会です。自分だけではわからなかった作品の内容や表現も、いろいろな感想や意見を聞く中で見えてくるかもしれません。お茶を飲みながら、気軽に語り合しましょう。

日時：3月26日(日) 13:30~
会場：仙台文学館講習室 定員：20名
テキスト：『十二人の手紙』(中公文庫)
※参加費500円(茶代)

申込方法

往復はがきに住所・お名前・お電話番号(あればFAXも)・イベント名記入の上、仙台文学館へ(一枚につき一名の申込み)。締切：2月24日(金)(必着)

学芸員による展示解説

貴重な肉筆資料の解説とともに、井上ひさし作品の魅力について、学芸員が解説します。

① 12月18日(日) 11:00~ ② 1月21日(土) 13:30~
③ 2月18日(土) 13:30~ ④ 3月12日(日) 13:30~
申込み不要。直接会場へ。※企画展観覧券が必要です。

交通のご案内

- バス利用の場合
(宮城交通バス) 仙台駅西口/バスプール2~4,6番乗り場・北部団地方面行
(急行・北山トンネル経由を除く)
(市営バス) 仙台駅西口/バスプール6番乗り場・八乙女駅行
※いずれも「北根二丁目・文学館前」下車
- 地下鉄利用の場合
台原駅下車徒歩20分(台原森林公園内あかまつの道経由)
- 駐車場40台(無料)
台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい



(公財)仙台市市民文化事業団
仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区上里3-7-1
Tel.022-271-3020 Fax.022-271-3044



このチラシは「謎がみ」としてリサイクルで生まれ